



もう一度

Let's go see the sea at dawn again.

夜明けの海を

I'm so glad I met you, I should have told you sooner.

見に行こう

ほんの
短い間

くじら島で
過ごした
日々のことを

今でも
ときどき
思い出す





朝の海ってのも
なかなか
いいもんだな

でしよー？

ふーん



静かで
好きなんだ
……



…キルア

おー？
目え
覚めたか？

とつくに
覚めてる
よ！！

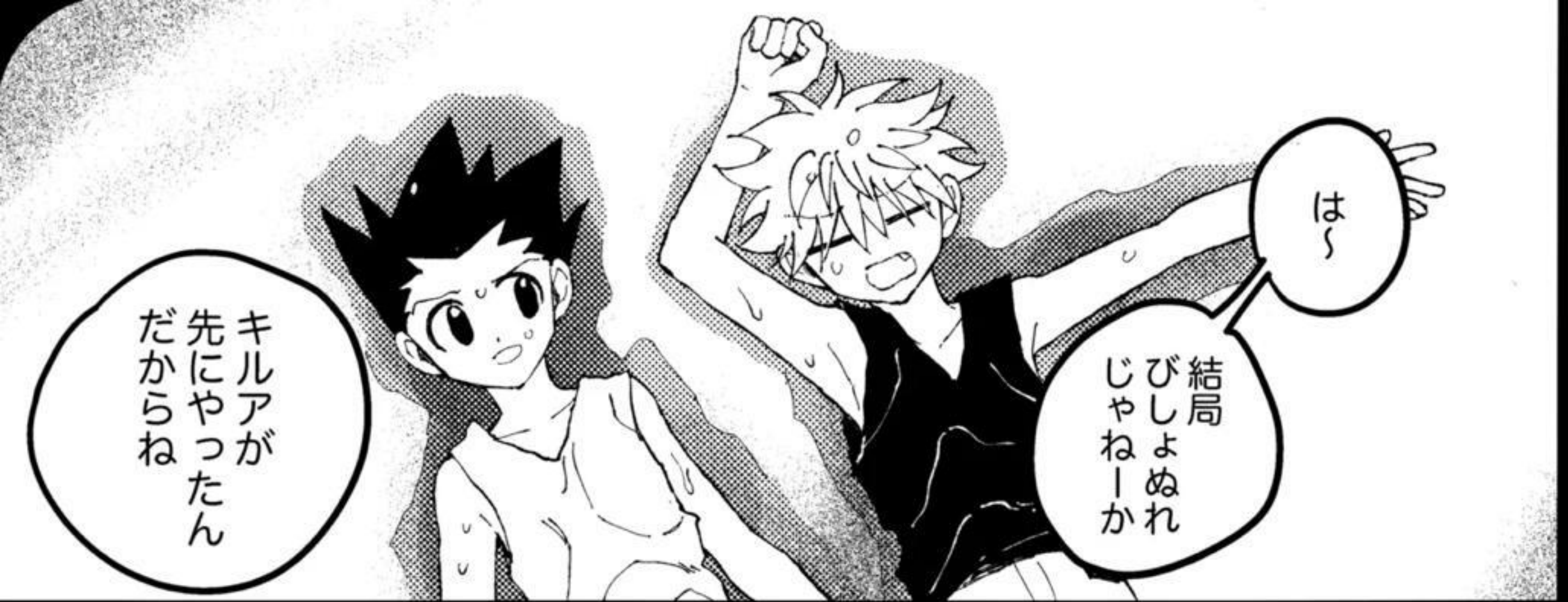
うわっ
ちよ…

□！
□に入っ

ニャ
ニャ

ほた
ほた

お、お、お





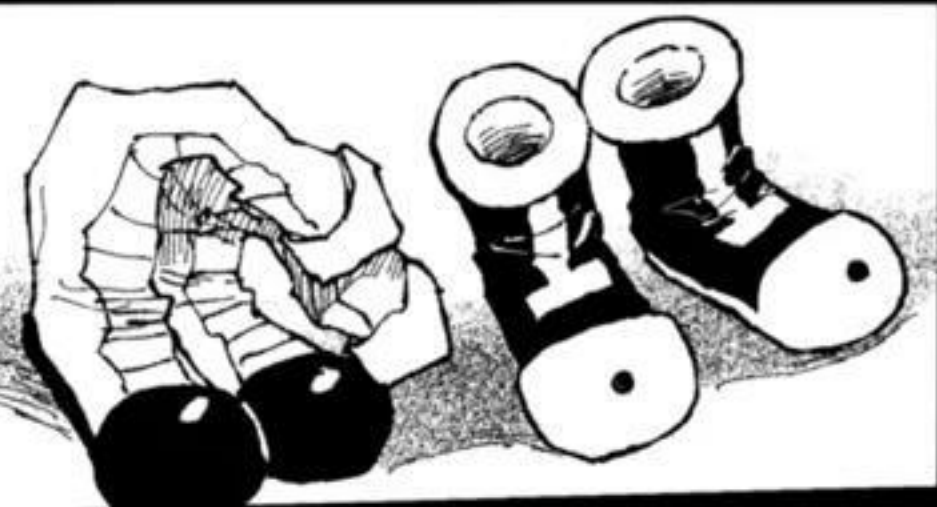
そういう
のは
女の子に
言えよ

え？
なんで？
キルアの
ことだもん

フー
フー
フー

へーへー
やめろよな
恥ずかしいから

：お前
なー！



腹減ったし
戻ろうぜ

うん！

朝ごはん
何かなあ

あっ

こんど
夜も
来ようよ

光る魚が
いるんだ

へえ

そりや
見て
みたいな

本当は

お前の笑顔のほう
きらきらして
海がよく
似合ってたよ

ああ
ここで
育ったから

照れくさくて

言えなかったけど

ゴンは
こんなに
まっすぐ
なんだって





あのね
あのね

この街
スイゾクカン?が
有名なんだって



行って
みたいなあ



いいよ

やったー!

アルカとの
旅は
今のところ
順調だ

オレ自身
見たことないものに
たくさん出会えている

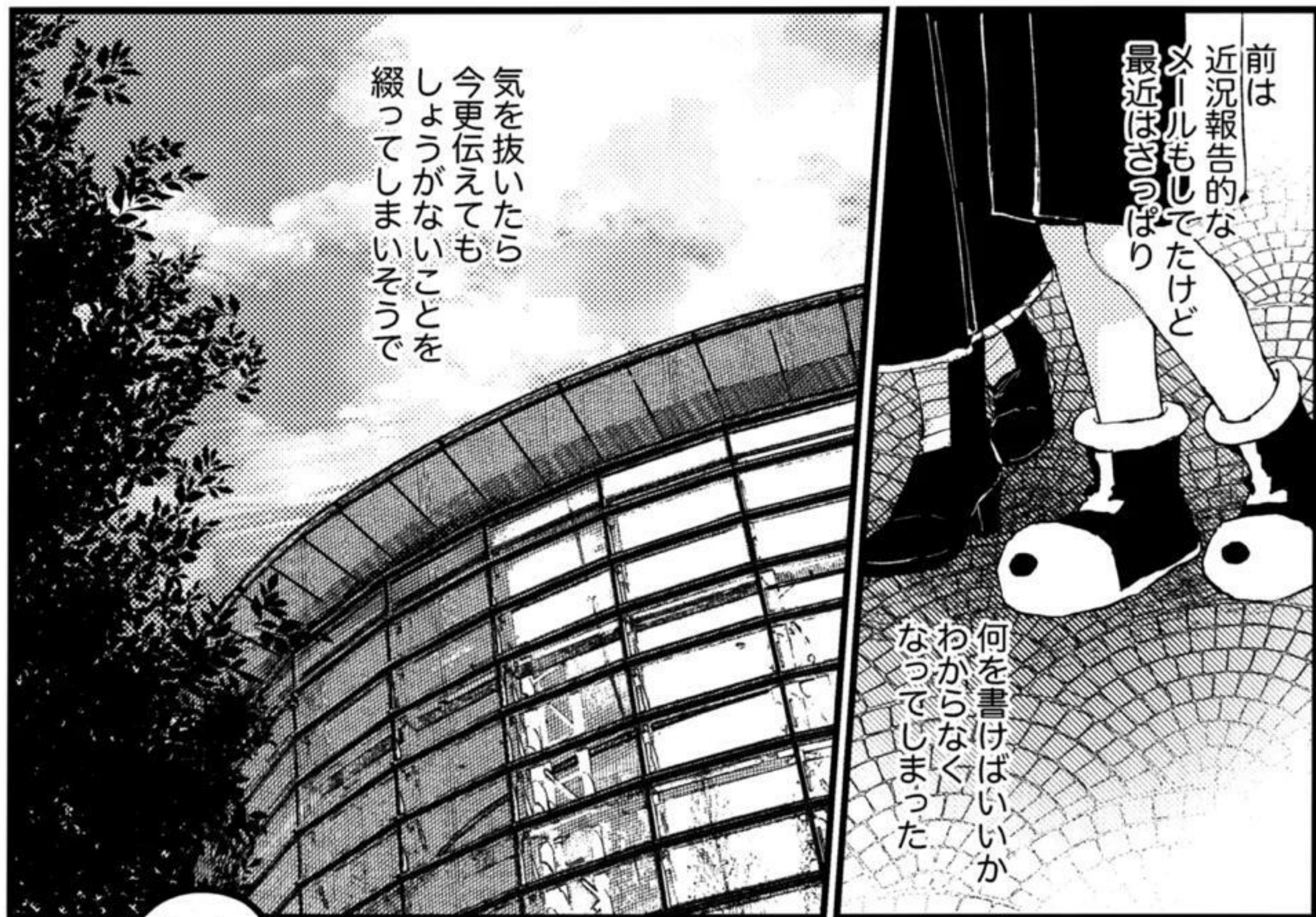


でも

そういう
瞬間の
たびに



ゴンが隣に
いたらなと
思ってしまう



前は
近況報告的な
メールもしてたけど
最近はさっぱり

何を書けばいいか
わからなくなっ
てしまった

気を抜いたら
今更伝えても
しょうがないこと
を綴ってしまっ
そうで

疲れて
ないか？

ザワ

ザワ

大丈夫！
ありがとう

スイゾクカンって
すごいね
お兄ちゃん



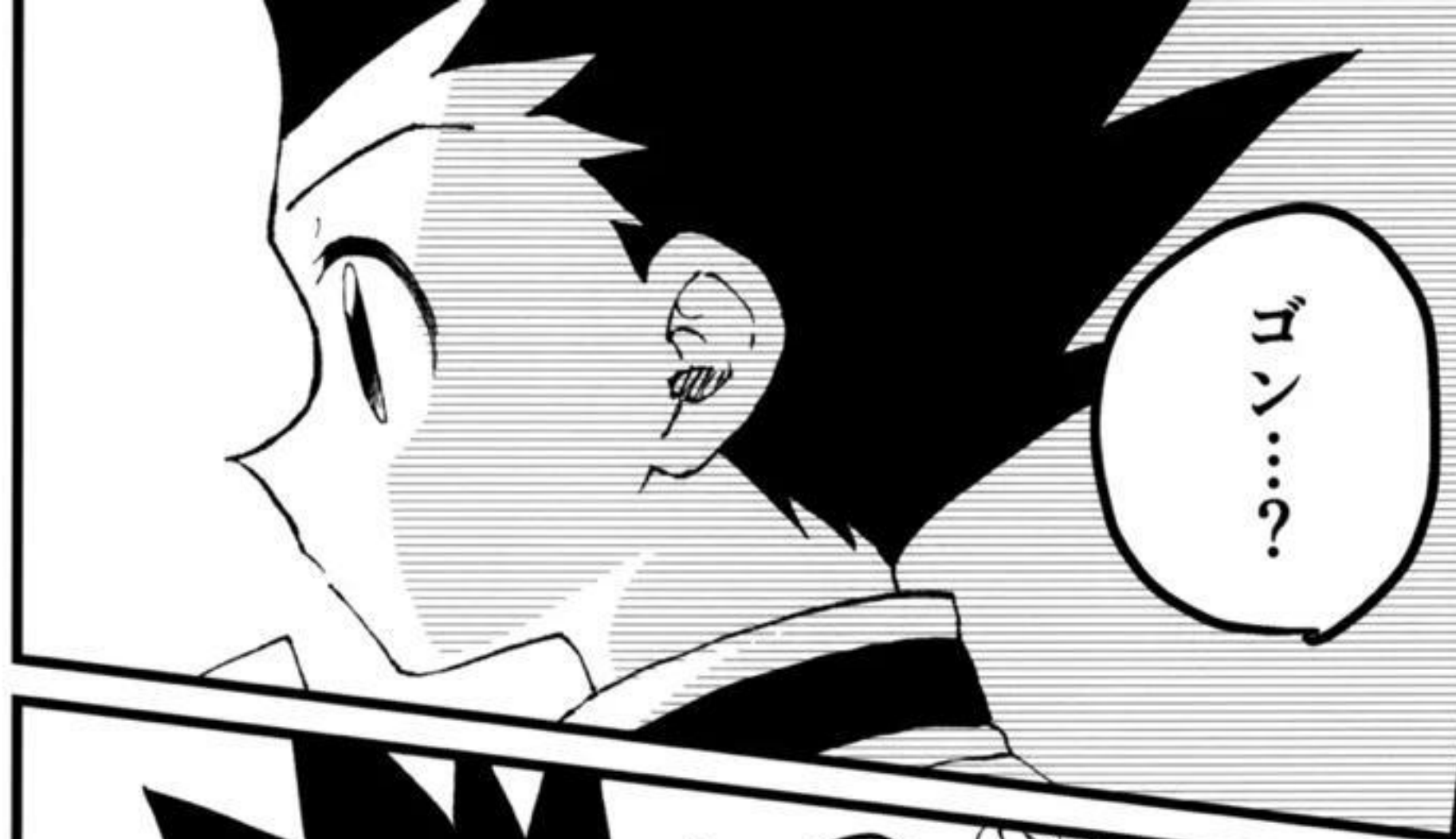


ここは
特に
でかいな

ハンターが
貴重な水性生物の
保護と研究に全面協力
してるらしい

へえー！
お兄ちゃんのお友達も
参加してる
かな？









2人は
しばらく
この街にいるの？

そのつもり



てかお前は
なんで
いんだよ

勉強は
いいのか？

すみません
お兄ちゃんって
たまに素直じゃ
ないんです

アルカ



カイトが

この水族館の
目玉展示に
関わってるからって
チケット送って
くれたんだ

ミトさんも
たまには息抜き
してきなさいって

あ、オレは
明日帰っちゃう
んだけどさ

…へえ

しっかり
しろ

ちゃんと
折り合い
つけた
はずだろ

相変わらず
活躍してんだな
カイトは

それって
オレたち
もう見たかな

巨大水槽だから
まだだと思うよ

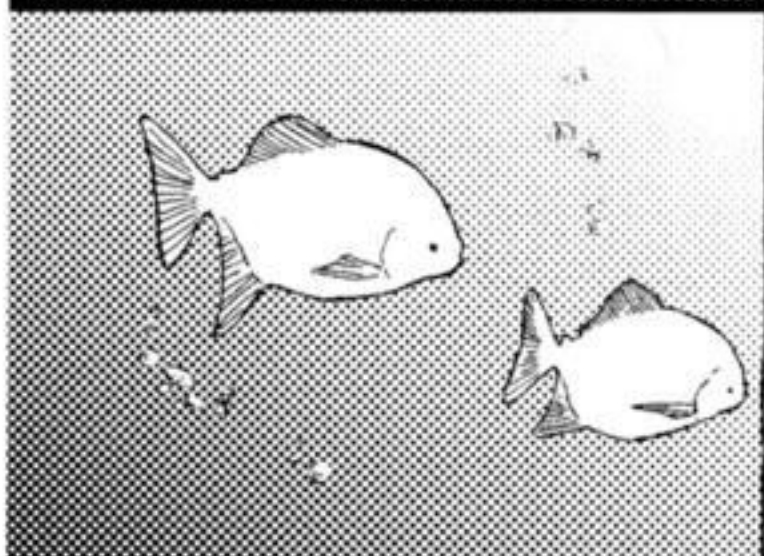
もちろん
です！

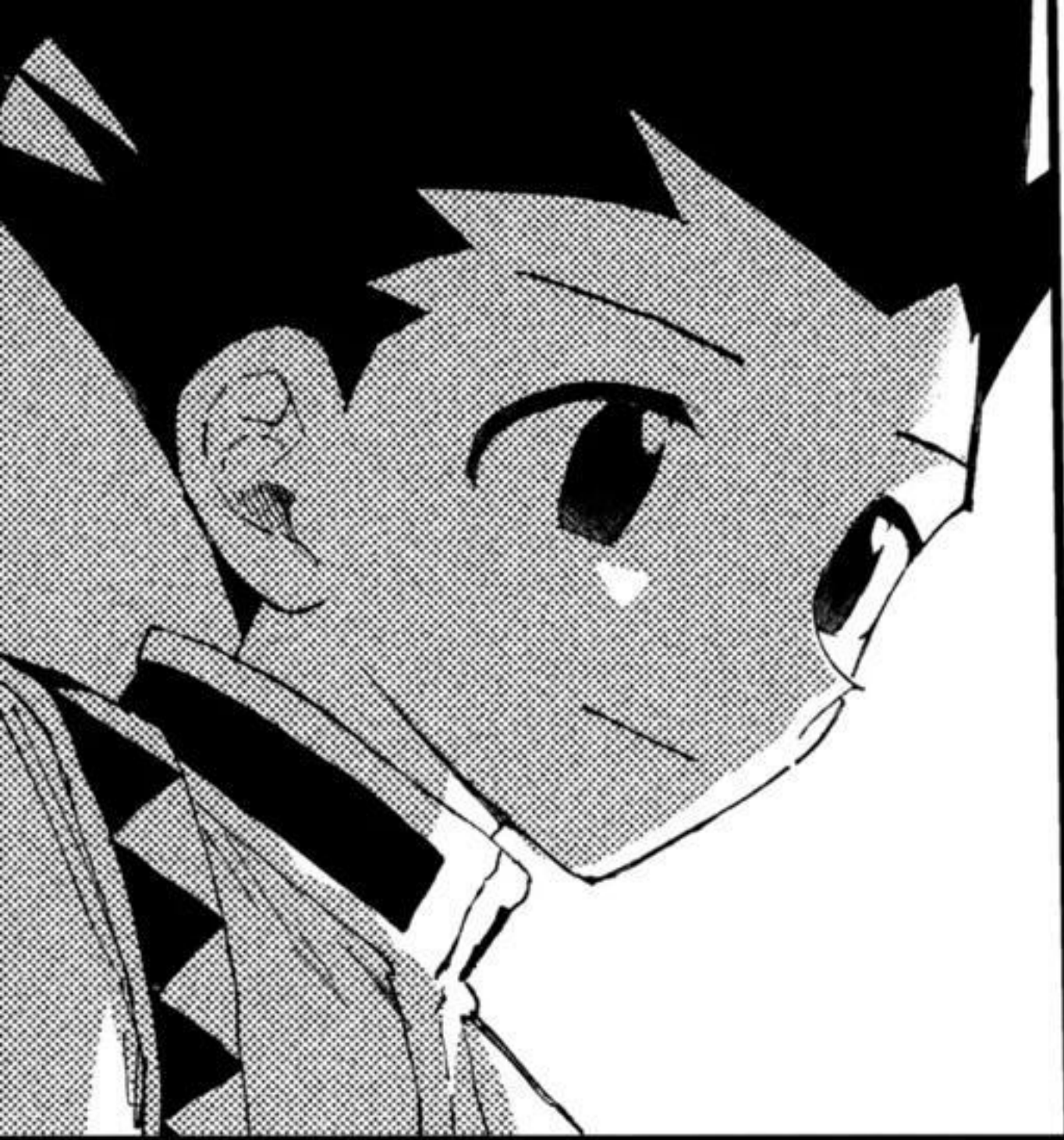
ねっ
お兄ちゃん

ああ

このあとも
展示
見るよね？
よかったら
一緒に
回ろうよ！

メールでも
聞いたけどさ





なのに…

オレだったら
すっげーメンタル
落ちるけどな

オレたち
あんな必死に
修行して

死線くぐって
強くなったんだぜ？



…ごめん

ううん



でもね
ジンに
言われた
んだけど

あれで
死ななかつた
だけでも
奇跡みたいな
ものだし

今オレに
できることは
何か探す
チャンスだって…

キルアと
アルカちゃん
くれた命だもんね



この先のことは
じっくり考えるよ

今は勉強で
手一杯だけど

あはは



ありがとう



：お前助けたのは
アルカだって
言っただろ？



オレは
別に

キルア



……っ

……やめろよ
恥ずいだろ!!



お部屋って
交換
できるのかな

?



ゴンが
宿をとっていないと
言うので

オレたちが
泊まっている
ホテルに
案内した

お兄ちゃん
ゴンさんと
一緒に
お部屋にしなよ
あたし
1人部屋
泊まって
みたいし

危ないぞ
アルカ



だいじょーぶ
ケータイ
あるもん

何か
あったら
電話するね





くじら島で
追っかけた
光る魚

水族館には
いなかったな



ゴン



あはは

意外と
すぐ
会えたな

…オレは



今日は本当
びっくり
したよ

ひさびさに
島の外に
出ただけで
ワクワク
してたのに



キルアにも
会えちゃう
なんてさ



でも
再会したら
すぐ
わかったよ



キルアと
離れてた時間
すごく長く感じた



ゴン

やっぱり
キルアは
オレの最高の
友達
なんだって



せっかく
だから
言うね

前から
思ってたこと

どうして
今になって
そんな

ねえ
キルア



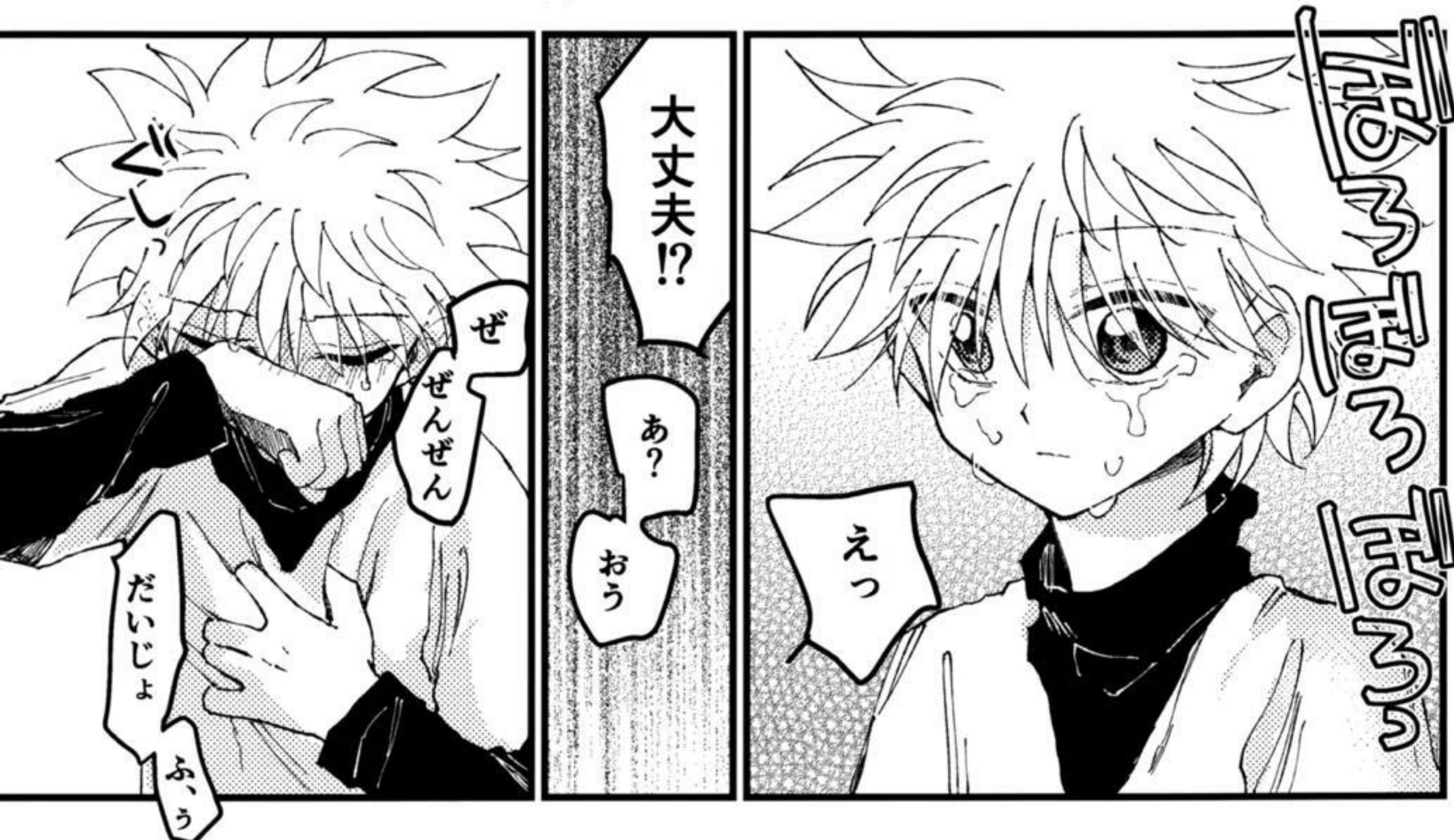
やめろよ



また
いつか
……
キルアと
旅ができれば
嬉しいな

オレが
欲しかった
言葉全部

あっさり
くれちゃうん
だよ



大丈夫!?

あ?

おう

えっ

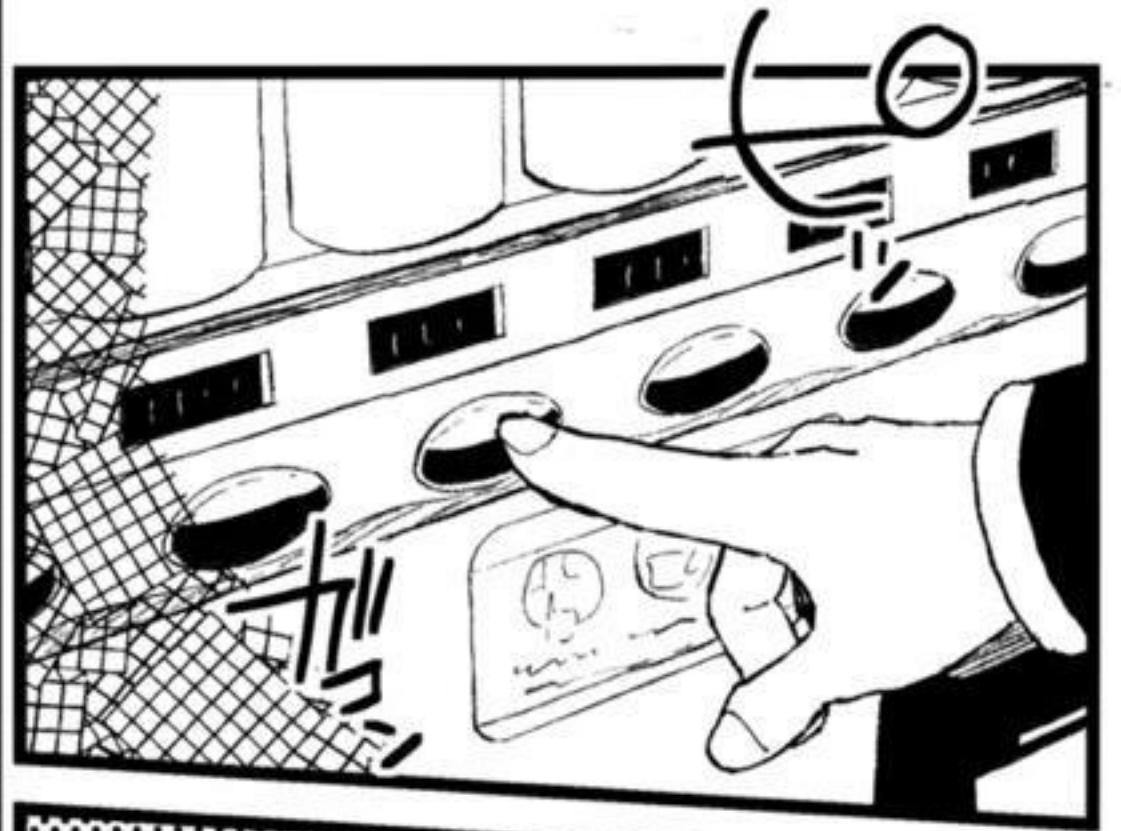
ぽろぽろぽろ

ぜ
ぜんぜん

だいじょ

ぶっ





あのとき

お前が
ピトーと
戦って
負けるようなら

一緒に
死のうと
思ってた

そ

んなこと
考えてたの!?

ダメだよ
オレの
巻き添えで
キルアが
死ぬなんて!!

あーあー
あーあー

出たよ
オレはいいけど
キルアはダメだ理論

何だっけ
それ!?

覚えて
ねーのかよっ
ヨークシンで
旅団に捕まったとき
おめーが
言ったんだよ

…とにかくだ

オレは
なあ

お前の役に
立ちたかった

エゴだと
しても







あっ

ごめん
キルアまで
濡れちゃう

…いいよ
別に

うん
だい

でも
なんか
懐かしいな

くじら島でも
オレたち何度も
海入ってさ

結局
いつも
びしょ濡れに
なってたね

キルア

そんなに
思い詰めてたなんて
知らなかったよ

ごめんね

でも…
そーだな

さっきの
続き

：お前が
謝ることじゃ
ないよ

オレの
わがまま
だから

てかこの際
おめーに
思ってたこと
全部言っ
ていいか？

うん
聞かせて





本当は
もっと
早く

ちゃんと
……

言わなきゃ
いけない
んだ

オレじゃなきゃ
ダメって
言ってくれて
嬉しかった

家から
連れ出して
くれて
ありがとう

いろんなところ
旅できて
楽しかったよ

ゴンに
会えて
よかった

ゴン
好き
ゴンが

今も
好き

ずっと
好き

…キルアの
中には

いっぱい
いっぱい

オレへの
言葉が
あった
んだね

オレも
キルアと
会えて…

一緒に
過ごせて

本当に
よかったよ

キルア

キルア

念は
消えちゃった
けどさ

あの旅の
日々は
残ってるよ



オレも
大好きだよ
キルア



だから
キルアが
オレのせいで
死ぬとか



傷つくのは
嫌だなあ



でもそれが
逆にキルアを
傷つけてたんだね

ごめんね

謝らなくて
いいってっ…



オレが勝手に
意気込んで…
勝手に凹んでたんだ



オレが
優しいんじゃ
なくて

：ゴンが
オレの
特別な



優しいよね
キルア：

あのなあ



キルアと
一緒に
いたいよ



ねえ

もう一回
言わせてね



本当？

何か方法が
あるはずだよ

だから
無理なん
だって

あ

キルアが
もうオレといるの
嫌んなっちゃったなら
しょうがないけど

違うなら

大好き同士なのに
離れてなきや
いけないなんて
悲しいじゃん

とりあえず
今日
わかったのはさ

もっとオレたち
思ってること
伝えたほうが
いいよね

あ
それ以前に…

約束
するよ

もう勝手に
一線
引くような
ことしないよ

でもキルアが
オレ優先に
なりすぎるのも
よくなくて

うーんと







また
メール
するよ

オレも



ようこそ



そっち
行っている？

え……

……好きに
しろよ

でもオレ
キルアほど
おもしろいこと
書けないかも

基本ずっと
この島
だし



あー？

そんな
別に……



わかった

そういうので
いいなら

恥ず……

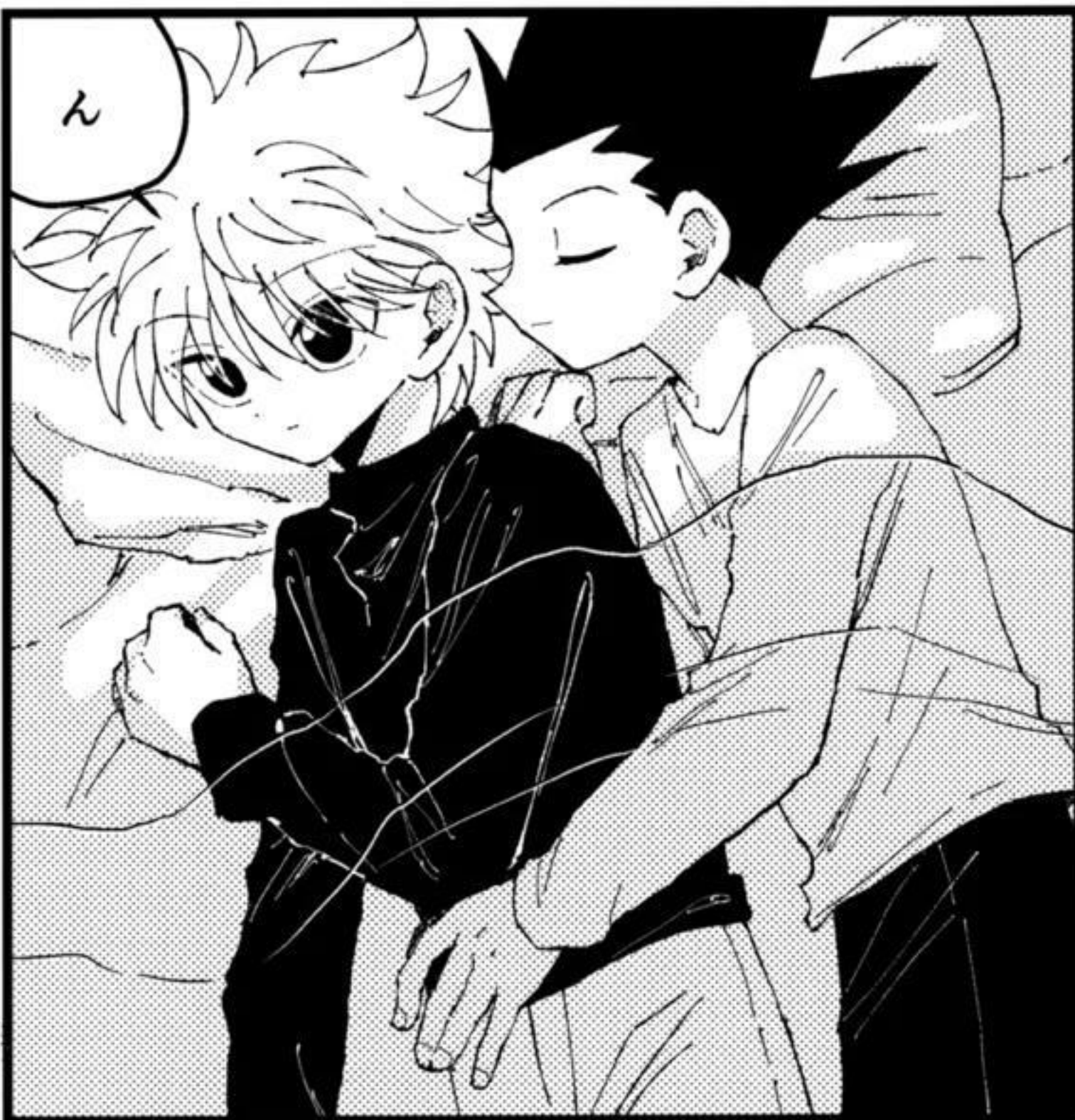


オレは……

ゴンが
何してるとか
何考えてるとか

わかれ
別に……

……





…やっぱり



うん

わかってる



今すぐって
訳には
いかない



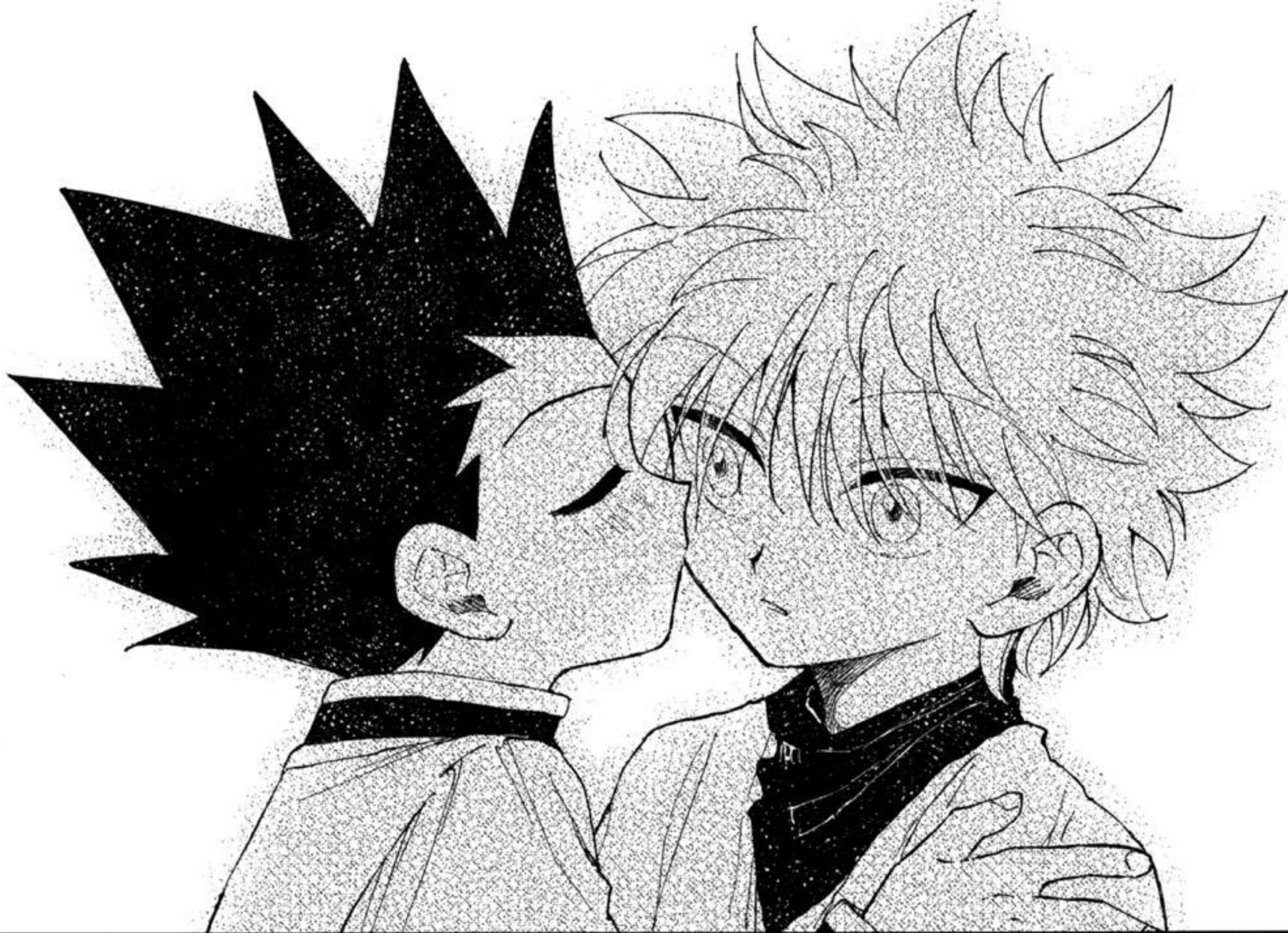
…お前やっぱ
どこまでも
ハンターだよ

だからまた
会える日まで



でもオレは
絶対絶対
ぜーったい

キルアを
捕まえて
みせるからね！





オレ
キルアといると
楽しいよ

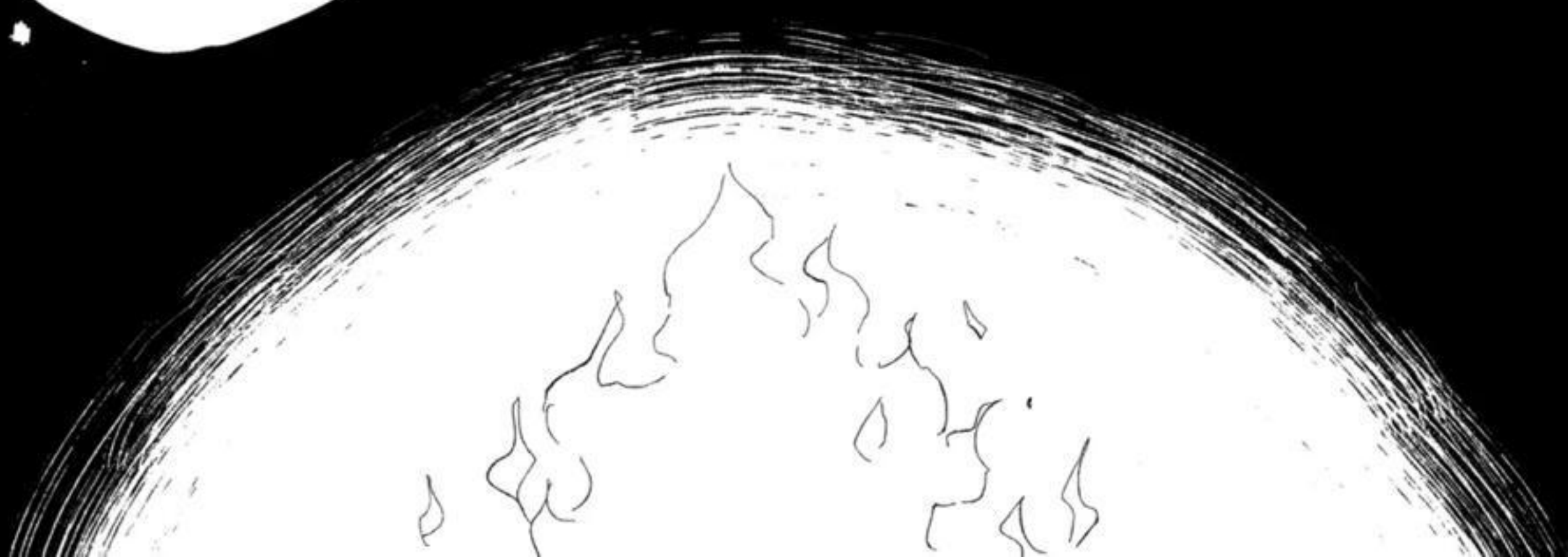
な

んだよ
急に

キルアは
オレといて
楽しい!?

あ?
そりや..
まーな

じゃ
これからも
一緒に
いよう!





ゴン
オレさ



お前と
いると

めちやくちや
楽しいよ



さっきは
ちゃんと
言えなかった
けどさ



キルア
寝ちゃった？

起きてる
よー

何？



なんでも
ないんだけど

オレの部屋に
キルアが
いるんだな
ー
って！

なんじゃ
そりや…



それは
までは



この本は非公式ファンブックです。原作者様、出版社様とは一切関係ありません。
処分する際は同人誌専門の中古書店に売却していただくか、
中身がわからない状態にしていただいた上で可燃ゴミとして廃棄してください。

HUNTER × HUNTER
UNOFFICIAL FANBOOK
GON × KILLUA
PRESENTED BY
KINAKO-RAMEN